

IPv6のGeoIPってどんな状況?

JANOG42

2018年7月15日

ヤフー株式会社

高澤 信宏



これまでのIPv6化に向けての活動

- 2010年
 - IPv6接続性の調査結果やノウハウ等を発表(Techblog公開)
- 2011年
 - World IPv6 Day参加
- 2012年
 - インフラのIPv6化対応完了(IPv4/v6デュアル)
 - ヤフーのIPv6への取り組み(Techblog公開)
<https://ipv6.yahoo.co.jp/ipv6launch/>
 - 一部お客様への影響があるためLaunch見送りを発表
- 2016年～現在
 - モバイル3社様IPv6スタートを受けて配信を再検討
 - 社内サービスのIPv6化

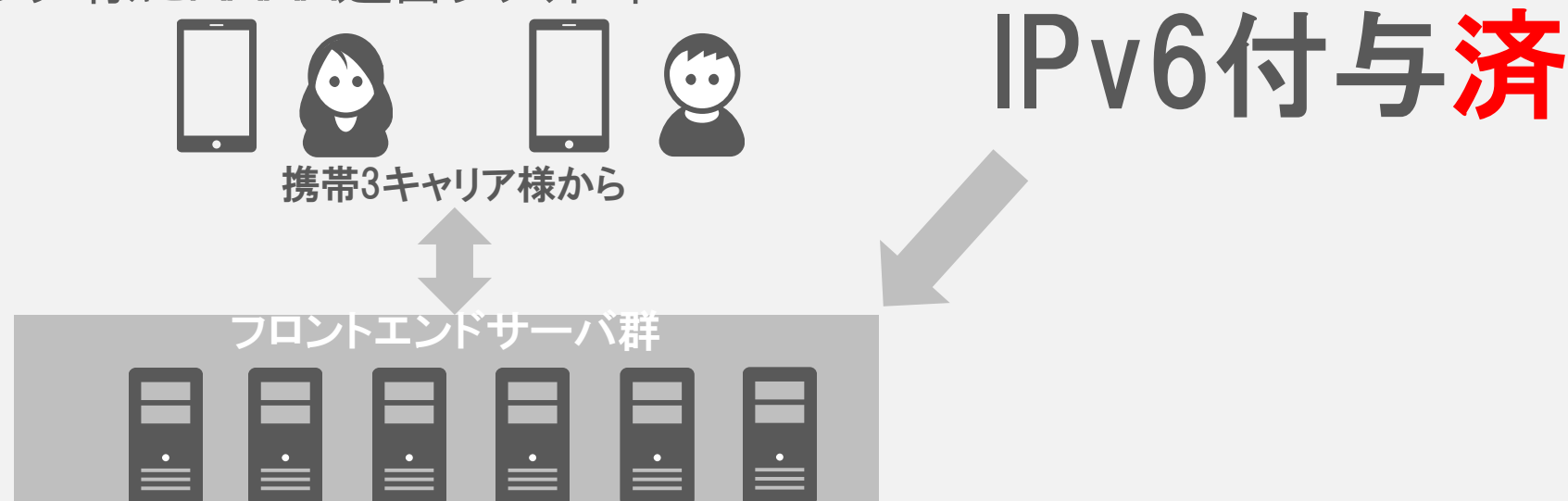
フォールバック問題で ブレーキ

現在の検討状況

- 2016年 携帯3キャリア様/ISP様のIPv6推進のお話を受ける
 - お客様向けIPv6推進を再度検討
- サービス側の試験環境の整備
 - 社内端末 スマホ・業務PC含めIPv6対応環境準備完了
 - フロントエンドの試験環境準備完了
- サービス側での試験へ（現在ココ）
 - サービス側エンジニアでの影響調査へ
 - お客様のIPがIPv6になることでのバックエンドへの影響調査が課題

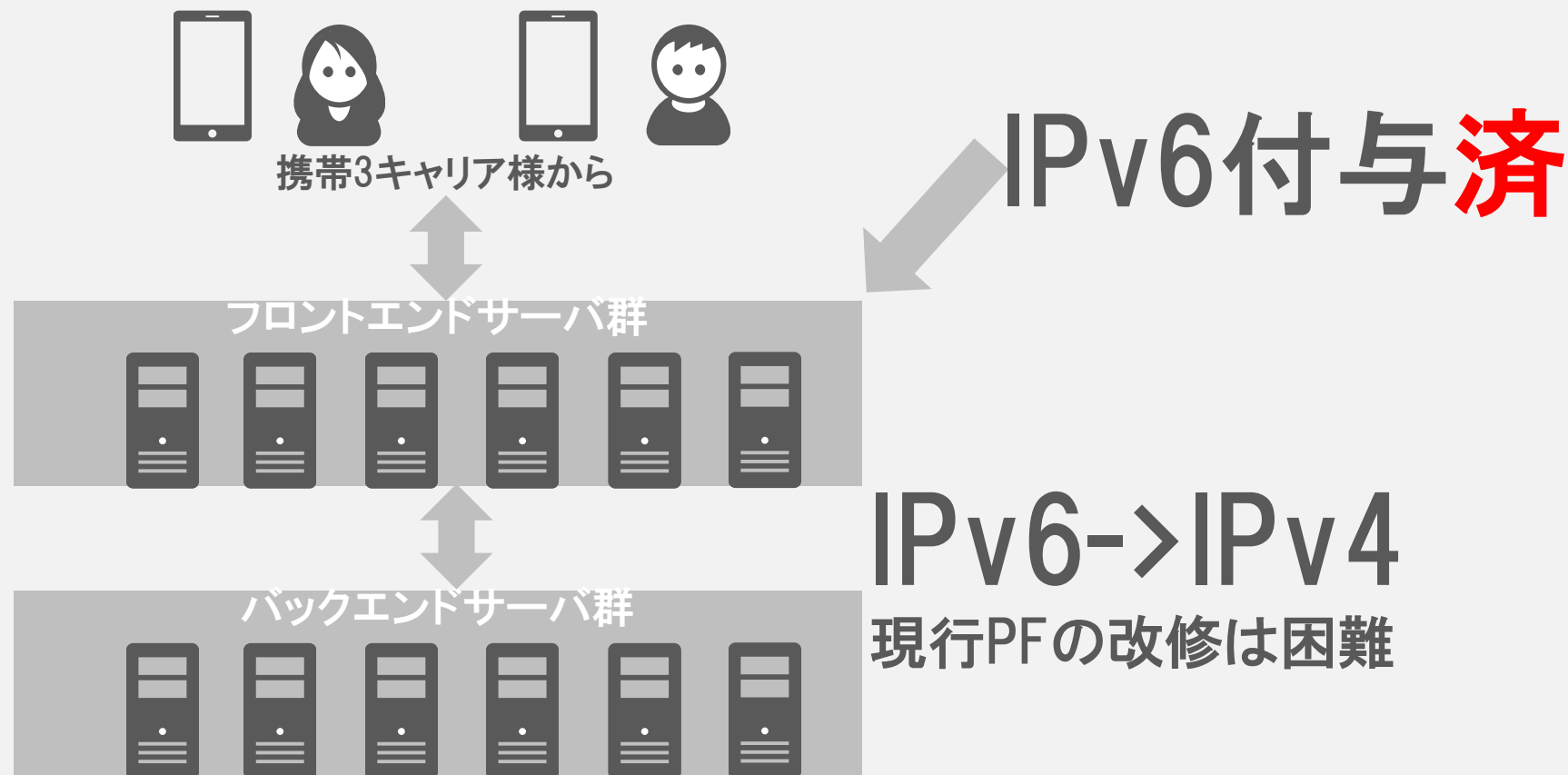
現在の検証状況について

- フォールバック問題は問題無いとは未だ言い切れないと考えている
 - 追加での実証実験はリソース含めなかなか厳しい
- “まずは”携帯3キャリア様にAAAAを返す方向でv6サービスを検討へ
 - GSLBで3キャリア様にAAAA返答テスト中



バックエンド対応の難しさ

- バックエンドへのIPv6アドレスの影響調査、現PFの改修はなかなか困難
- 新PFからIPv6化を推進する方向で社内で検討中



そうだ動画から始めよう

動画配信をv6へ

- IPoEへの動画移行でPPPoEの輻輳から解消
- 配信のみであり社内 P F 側にかかる負担も少ない

効果が高そう

とあるWGにて・・・

国内配信限定の壁

「IPv6 GeoIPはIPv4のレベルにはない」

国内外判定で
急ブレーキ

IPv6配信実現に向けて

サービス側：IPv4と同等ならばいい



何をもってIPv4と同等とするか

国内 I S P 様へのだし分け

携帯3社様同様国内ISP様にIPv6で配信



アプリケーション側での国内外判定
DNSでの出し分けでは要件を満たせない

IPv6 GeoIP精度向上
どうしましょう？